

The logo for alfresa, featuring the word "alfresa" in a blue, lowercase, sans-serif font. A small green leaf icon is positioned above the letter 'f'.

alfresa

2026年3月期 第2四半期(中間期) 決算説明会資料

アルフレッサ ホールディングス株式会社
2025年11月6日発表

Fresh life for all.

すべての人に、いきいきとした生活を。

*alfresa*group

連結損益計算書



(百万円、%)	2024年9月期		2025年9月期		増減		当初 予想比
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	前年比	
売上高	1,456,355	—	1,529,762	—	73,407	105.0	99.9
売上総利益	102,310	7.03	105,751	6.91	3,441	103.4	99.9
販管費	87,315	6.00	89,544	5.85	2,228	102.6	97.4
営業利益	14,995	1.03	16,207	1.06	1,212	108.1	115.8
経常利益	16,279	1.12	17,485	1.14	1,205	107.4	114.3
親会社株主に帰属 する中間純利益	14,065	0.97	11,521	0.75	△2,543	81.9	126.6

※ 2026年3月期 1株あたり中間配当金：34円

当初予想比は2025年5月15日発表の予想を元に算出しています

連結貸借対照表



(百万円、%)	2025年3月末	比率	2025年9月末	比率	増減額
流動資産	1,094,496	76.0	1,147,871	76.5	53,374
現金・預金	177,085	12.3	175,449	11.7	△1,635
受取手形・売掛金	645,778	44.8	680,953	45.4	35,174
棚卸資産	167,670	11.6	178,023	11.9	10,353
固定資産	345,388	24.0	352,862	23.5	7,473
有形・無形固定資産	203,900	14.2	207,703	13.8	3,802
投資その他資産	141,487	9.8	145,158	9.7	3,671
資産合計	1,439,885	100.0	1,500,733	100.0	60,848
流動負債	894,961	62.2	948,758	63.2	53,797
支払手形・買掛金	834,925	58.0	900,348	60.0	65,423
独占禁止法関連損失引当金	4,937	0.3	—	—	△4,937
固定負債	62,675	4.4	63,597	4.2	921
社債・長期借入金	30,000	2.1	30,000	2.0	-
純資産	482,247	33.5	488,377	32.5	6,129
自己株式	△21,369	△1.5	△21,548	△1.4	△179
負債・純資産合計	1,439,885	100.0	1,500,733	100.0	60,848

連結キャッシュ・フロー



(百万円)	2024年9月期	2025年9月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,938	30,557
(うち売上債権・棚卸資産・仕入債務増減)*	△11,168	19,697
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,440	△15,799
(うち固定資産取得)	△9,523	△14,373
(うち投資有価証券取得)	△4,873	△2,450
(うち投資有価証券売却)	5,914	1,989
フリーキャッシュ・フロー	△5,502	14,757
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,526	△6,801
(うち配当金支払)	△6,743	△5,830
キャッシュ増減額 (△は減少)	△12,890	7,863
新規連結**に伴うキャッシュ増加額	5,095	29
キャッシュ期末残高	204,637	182,706

*2024年9月期は、2024年3月末の金融機関休日等による影響

**新規連結：2024年4月 エス・エム・ディ(株)、2025年4月 セルリソース(株)

医療用医薬品等卸売事業



- 医療用医薬品：市場成長率 +3.3%^{*} 当社成長率 +6.1%^{**} 当社市場シェア 24.6%^{**}
(前同比+0.5%pt)
- 薬価の中間年改定によるマイナス影響、および人件費を含む物流費高騰等厳しい経営環境であったものの、市場伸長を上回る売上成長による増収効果とコストコントロールへの注力等により増収増益

(百万円、%)	2024年9月期		2025年9月期		増減		当初 予想比
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	前年比	
売上高	1,296,588	—	1,367,229	—	70,640	105.4	100.1
売上総利益	75,824	5.85	79,420	5.81	3,596	104.7	101.6
販管費	63,165	4.87	64,665	4.73	1,499	102.4	98.0
営業利益	12,658	0.98	14,754	1.08	2,096	116.6	120.9

*出所：クレコンリサーチ&コンサルティング(株) **出所：社内資料

当初予想比は2025年5月15日発表の予想を元に算出しています

医療用医薬品等卸売事業：カテゴリー別売上構成比



(%)	2024年9月期		2025年9月期	
	構成比	前年比	構成比	前年比
新薬創出加算品	40.5	107.6	44.7	115.8
特許品・その他	40.0	108.6	38.2	105.7
長期収載品	8.9	72.0	6.3	66.0
後発医薬品	10.6	100.3	10.8	105.7

セルフメディケーション卸売事業



- 市場伸長および販路拡大による増収効果に加えて、物流費の上昇はあるもののコストコントロールに注力したこと等により増収増益

(百万円、%)	2024年9月期		2025年9月期		増減		当初 予想比
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	前年比	
売上高	132,382	—	135,553	—	3,170	102.4	97.8
売上総利益	13,593	10.27	13,944	10.29	351	102.6	98.9
販管費	11,867	8.96	12,187	8.99	320	102.7	97.5
営業利益	1,725	1.30	1,756	1.30	30	101.8	109.8

当初予想比は2025年5月15日発表の予想を元に算出しています



- 原薬の売上伸長および販管費抑制への取り組みの一方で、薬価改定と2024年10月から導入された長期収載品の選定療養制度の影響による医薬品の販売減少、および診断薬の需要落ち込み等により減収、営業損失

(百万円、%)	2024年9月期		2025年9月期		増減		当初 予想比
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	前年比	
売上高	27,013	—	25,583	—	△1,430	94.7	97.6
売上総利益	6,143	22.74	5,433	21.24	△710	88.4	82.3
販管費	5,955	22.05	5,531	21.62	△423	92.9	89.2
営業利益	188	0.70	△98	△0.39	△286	—	—

当初予想比は2025年5月15日発表の予想を元に算出しています



- 薬価改定によるマイナス影響ならびに仕入原価上昇および人件費や減価償却費等の販管費増の影響により、減収減益
(25年9月末：176店舗 前同比 △2店舗)

(百万円、%)	2024年9月期		2025年9月期		増減		当初 予想比
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	前年比	
売上高	18,369	—	18,284	—	△84	99.5	98.8
売上総利益	6,812	37.09	6,771	37.03	△41	99.4	99.6
販管費	6,564	35.73	6,614	36.17	50	100.8	100.2
営業利益	248	1.35	156	0.86	△91	63.1	78.4

*2026年3月期より従来の医療関連事業を調剤薬局等事業というセグメント名に改称しています。

当初予想比は2025年5月15日発表の予想を元に算出しています

その他事業* (再生医療関連事業)



- 来期以降の事業展開と売上成長に向けた基盤整備のための投資等に注力
- 案件受注に向けた研究開発費や人件費等の販管費が先行

(百万円、%)	2024年9月期		2025年9月期		対前年度		当初 予想比
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	前年比	
売上高	—	—	—	—	—	—	—
売上総利益	—	—	—	—	—	—	—
販管費	—	—	509	—	509	—	85.0
営業利益	—	—	△509	—	△509	—	—

* その他事業セグメントは2026年3月期より新設

当初予想比は2025年5月15日発表の予想を元に算出しています

25-27中計の進捗



25-27中期経営計画

Vision2032 Stage2 ～総合力で未来を切り拓く～

(1) 事業戦略

- 25-27中計成長シナリオ
- 基盤領域、成長領域、新規領域における取り組み

(2) 財務資本戦略

- 基本方針
- キャッシュ・アロケーション
- 政策保有株式の縮減
- 配当と自己株式取得の方針

(1) 事業戦略

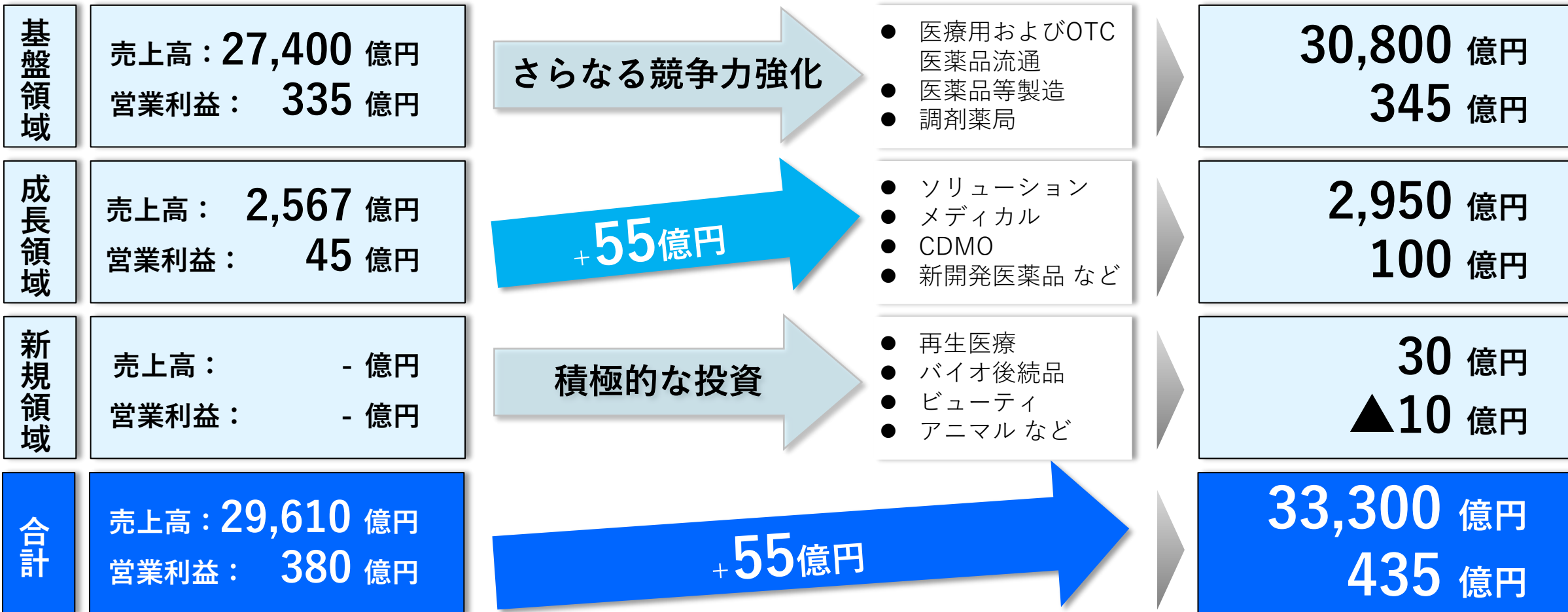
25-27中計成長シナリオ

- 25-27中計では成長領域が営業利益を牽引
- 中長期ビジョン達成に向け、新規・成長領域に700億円の投資を計画

2025年3月末(実績)

取り組み・利益トレンド

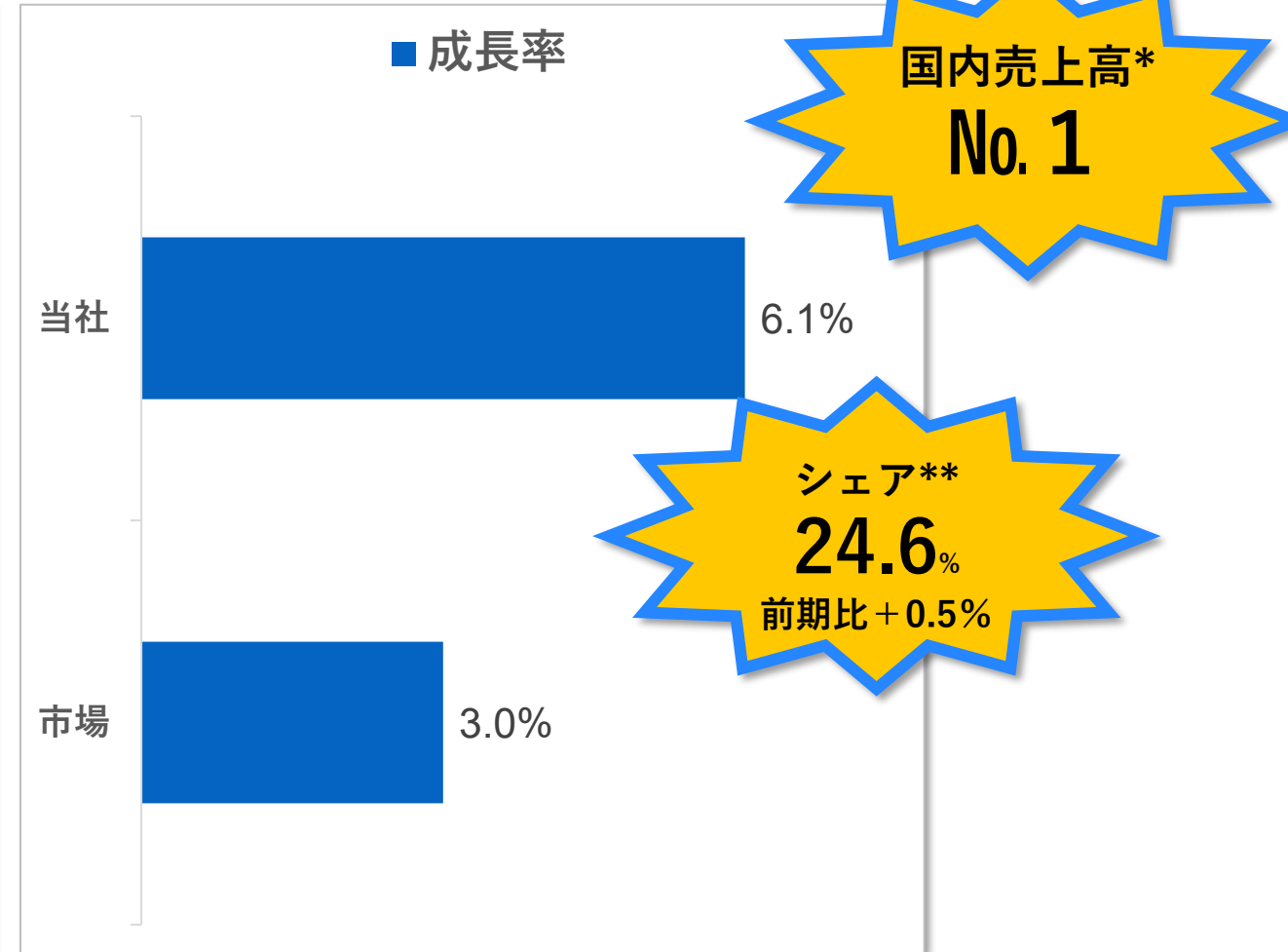
2028年3月末(25-27中計)



基盤領域：医療用医薬品卸売事業

- 業界No.1の圧倒的なMS数でネオプライマリー戦略を遂行
- 医療用医薬品卸売事業の成長率は市場を大きく上回り圧倒的な業界シェアNo.1へ

- 業界No.1の圧倒的なMS数で、プロダクトサービスを活用し、業務効率化を進めつつ、積極的に営業展開
- 限定された適応症を有する等の特徴があるスペシャリティ医薬品でありながら、対象患者が比較的多く、専門病院に限らずプライマリー領域でも処方される製品のプロモーション活動
- 処方元医師への営業活動に注力したことにより、診療所販路の売上高成長率は7.2%



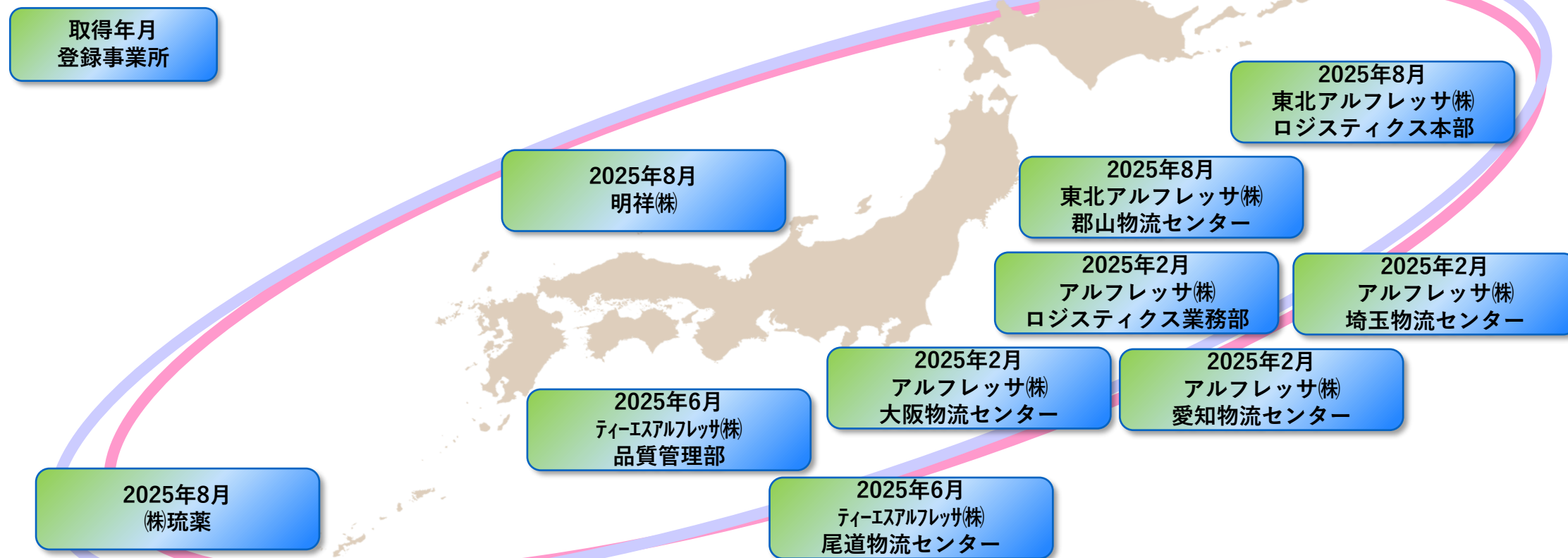
* 出所：ドラッグマガジン2025年8月号「医薬品産業ランキング」卸企業編大手グループベスト5
(株)ドラッグマガジン

** 出所：社内資料



ステークホルダーが求めるロジスティクス体制構築

➤ 10事業所でISO9001取得実績。グループ全体で認証取得に取り組み、品質を向上



つくば物流センター、山口宇部センター、および四国物流センターにより
物流ネットワークも拡充し、ステークホルダーが求めるロジスティクスを展開



プロダクト・サービス*の推進による収益基盤の構築

- ヘルステックによる患者様や医療機関の利便性等の向上、および製薬企業向けのソリューション提供で、利益水準の向上を目指す

*プロダクト・サービス：当社グループが独自に企画・開発・提供しているステークホルダーの課題解決に資するシステムツール

- **Mydodes**：
医師とMRをつなぐコミュニケーションツール
Web面会、チャットによるメッセージや資料の送信、製薬企業のコンテンツ提供機能の搭載によりMR活動支援や医療機関の業務効率化を実現
- **NOVUMN**：
RFIDやクラウド等のIoT技術を活用し、医療機関での特殊医薬品の入在庫管理を自動で行う
必要な時に必要な量の特殊医薬品を提供し、医療機関の在庫管理とキャッシュフローを改善
製薬企業へはPMSも含めた情報提供が可能
アルフレッサグループ以外の企業にもNOVUMN協議会に参加いただき、全29社で普及を促進**

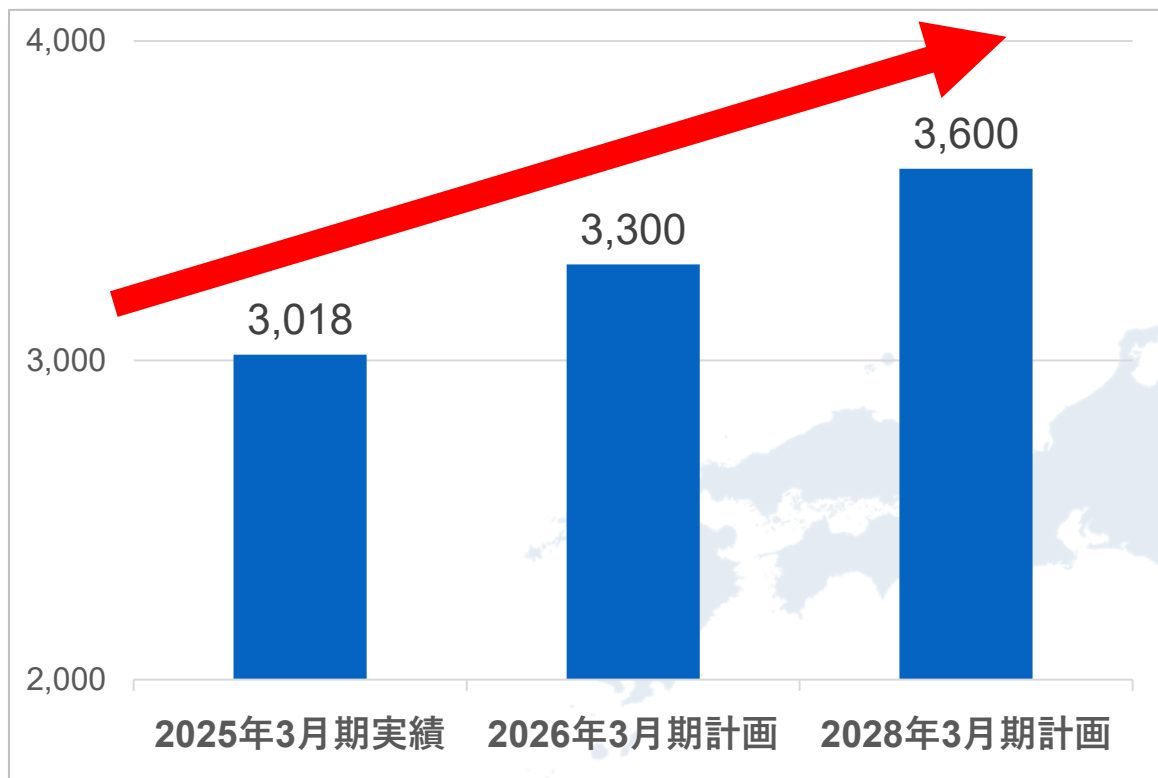
	2024年9月期 実績	2025年9月期 実績
 Mydodes	18,396人	25,773人
 NOVUMN <small>Next Ordinary Value for Universal Medicine Network</small>	145施設	204施設



全国ネットワークの強化

➤ 自社での取組みと専業卸様とのアライアンス等を通じて全国ネットワークを強化

メディカル品卸売上高の実績・計画(単位：億円)



(株)ミヤノメディックスの子会社化

- 2025年9月1日、ティーエスアルフレッサ(株)が全株式を取得
- 広島県福山市を中心に70年以上にわたる地域密着型の医療機器卸売業
- 高度管理医療機器、動物用医療機器等の取り扱い

東日本メディカルシステム(株)の子会社化

- 2025年10月31日、東北アルフレッサ(株)が株式取得完了
- 宮城県と岩手県において約50年にわたる医療機器を中心とした卸売事業
- 国公立病院や診療所へのCTやMRIなどの医療機器の販売およびサポート



製品パイプラインの拡充（iPS創薬、中枢神経系領域、アレルギー領域等）

- グループ理念「すべての人に、いきいきとした生活を創造しお届けします」を実現すべく、アンメット・メディカル・ニーズにチャレンジし、患者様のQOL向上に貢献

代表的な新規開発医薬品パイプライン

ネフィー点鼻液1mg/2mgの特長

患者様が医薬品を利用できる状態である「医薬品アクセスの向上」を実現すべく、点鼻による簡便で迅速な投与を可能とし、患者様のQOL向上に貢献



製品名 「商品名」	対象疾患	エリア	開発段階	パートナー
アナフィラキシー 補助治療剤 「ネフィー点鼻液」	アナフィラ キシー*	日本 国内	2025年9月 製造販売 承認取得	ARS Pharmaceuticals Operations, Inc.
ロピニロール 塩酸塩	筋萎縮性 側索硬化症 (ALS)	日本 国内	薬物動態 試験	(株)ケイファーマ

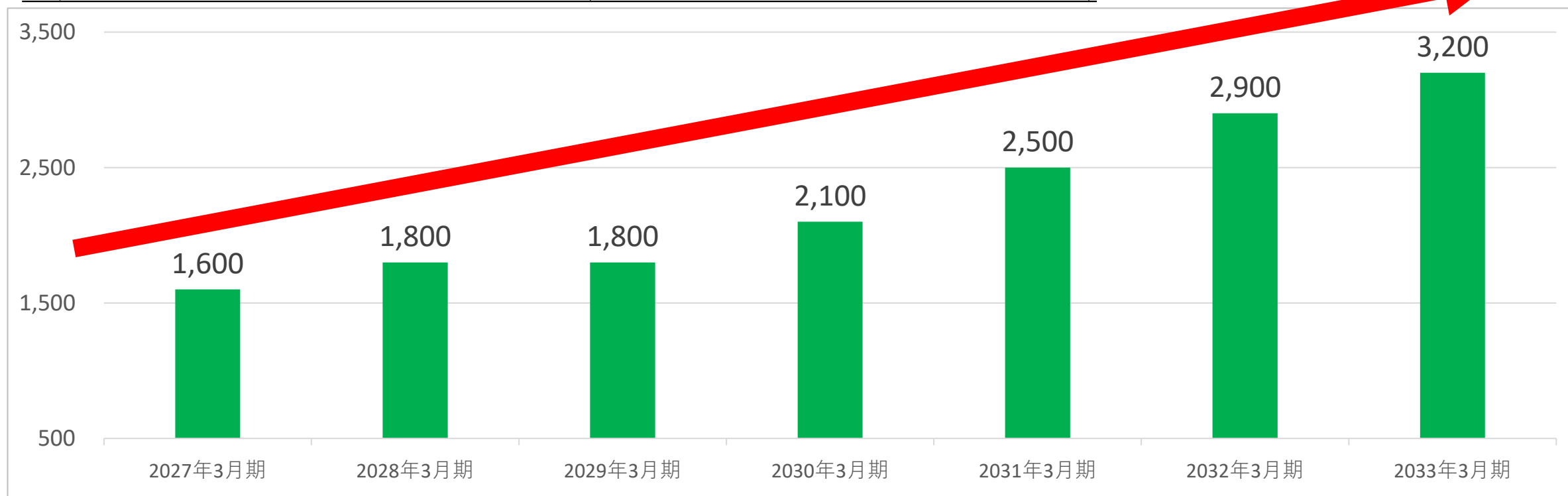
*アナフィラキシー：蜂毒、食物および薬剤等のアレルギーが原因となり、生命を脅かす状態まで急速に症状が悪化するアレルギー反応
これまでは、患者様ご自身やご家族等による筋肉内への注射が必要



群馬工場における新たな医薬品製造棟建設（2026年4月稼働予定）

- 中長期ビジョン達成に向けて、受託製造は高薬理活性製剤等の受託製造を含め順調な成長を見込む

新製剤棟を含む群馬工場のEBITDA水準(単位：百万円、数値は減価償却費を仮定計算)



新規受注件数は、9月末現在で30件超。稼働開始までに40件を超える見通し



合併会社設立とバイオ工場の新設（2026年3月までに着工予定）

➤ 4社で合併会社を設立

➤ **アルフレッサグループ**
製造から供給までを担う

➤ **Mycenax Biotech Inc.**
施設設計や人財育成等を担う

➤ **キッズウェル・バイオ(株)**
複数のバイオシミラーの開発・販売の実績

➤ **(株)カイオム・バイオサイエンス**
抗体医薬に強み

➤ **経済安全保障の観点から国内製造による安定供給体制を構築**

➤ **中長期ビジョン期間内に商用生産を開始**

TSCS*効果をもたらす事業スキーム



(2) 財務資本戦略



➤ 資本コストや株価を意識した経営の実現に向け、資本効率のさらなる向上を行う

- ・ DOE2.5%以上、累進配当政策の採用
- ・ 適時適切、機動的な自己株式の取得

株主
還元

企業価値

- ・ 自己資本比率
30%台前半から半ばを目途

財務
健全性

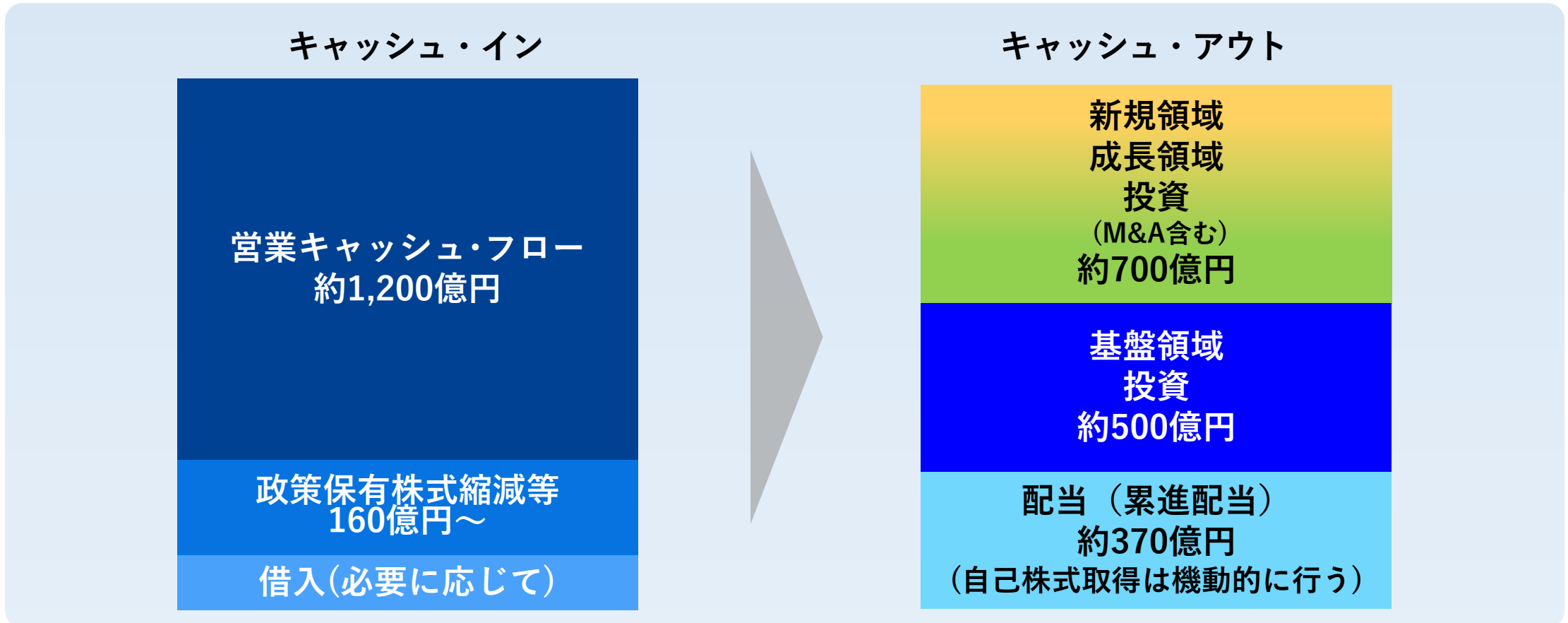
- ・ ROE 3年平均7%水準
- ・ 政策保有株式の縮減

資本
効率



25-27中計3年間のイメージ

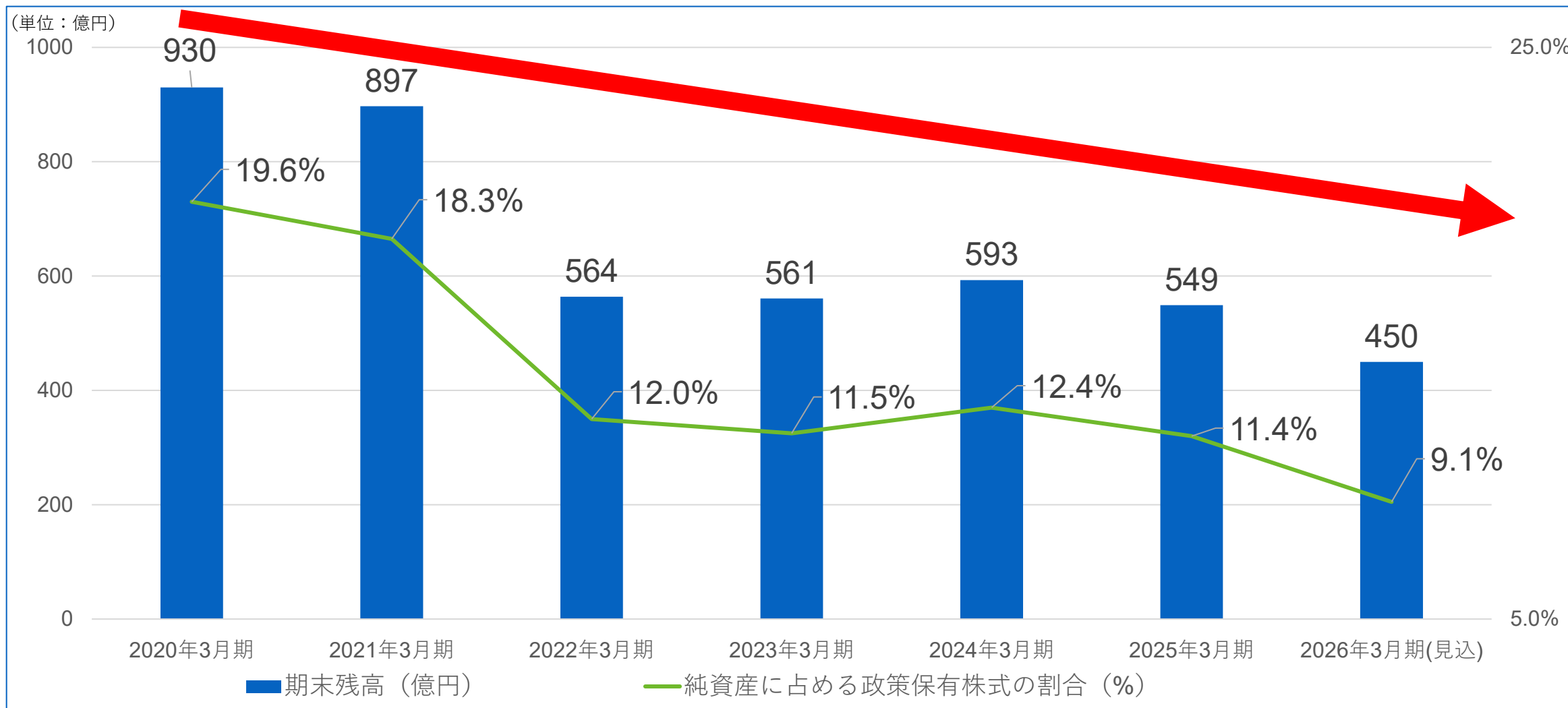
- 営業キャッシュ・フローと資産売却により、新規領域と成長領域を中心とした1,200億円の投資と株主還元を行う。負債活用も検討



財務資本戦略：政策保有株式の縮減



➤ 今年度中に純資産比10%を切る見込み。今後も積極的に縮減



財務資本戦略：配当と自己株式取得の方針

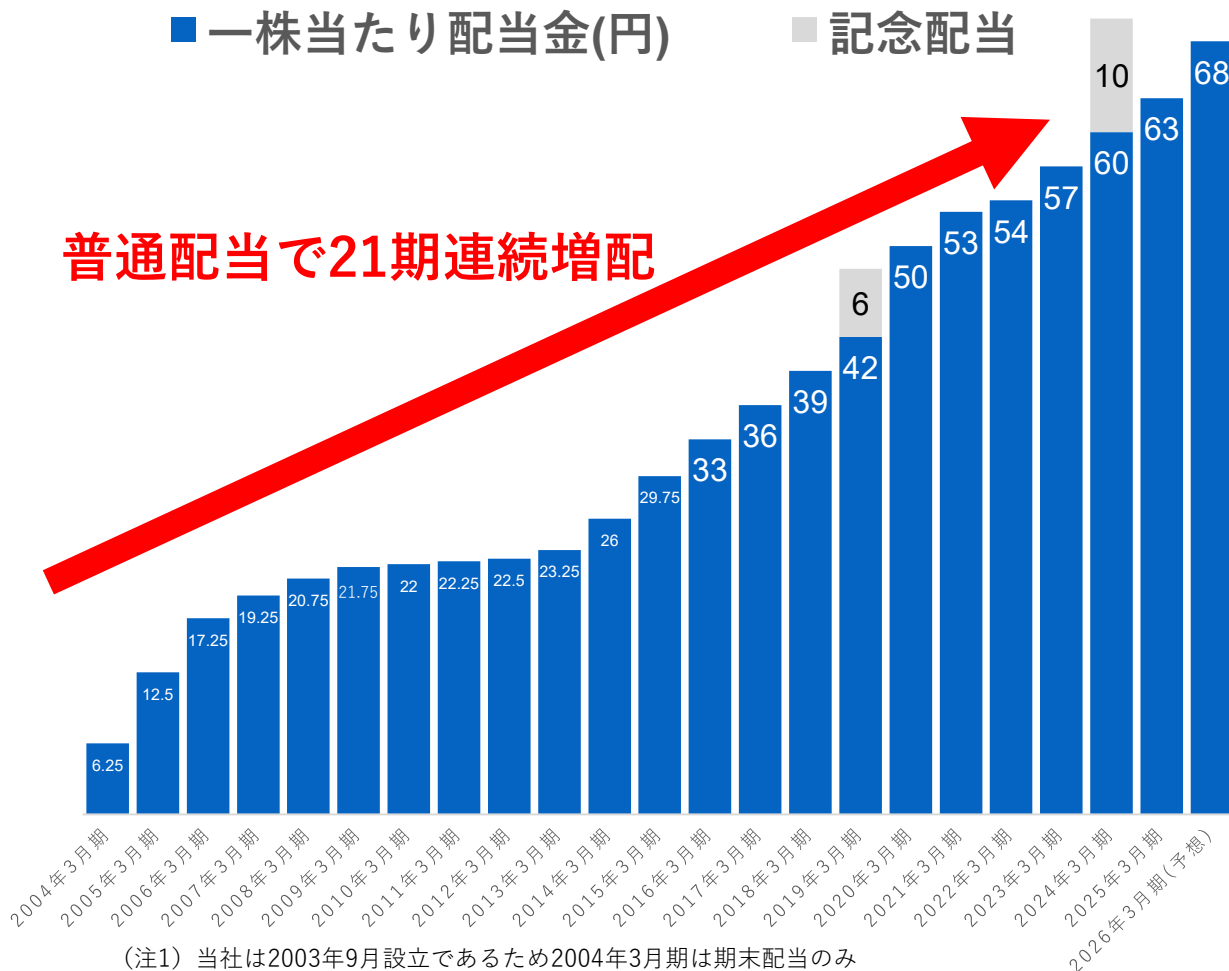


累進配当・DOE2.5%以上を計画

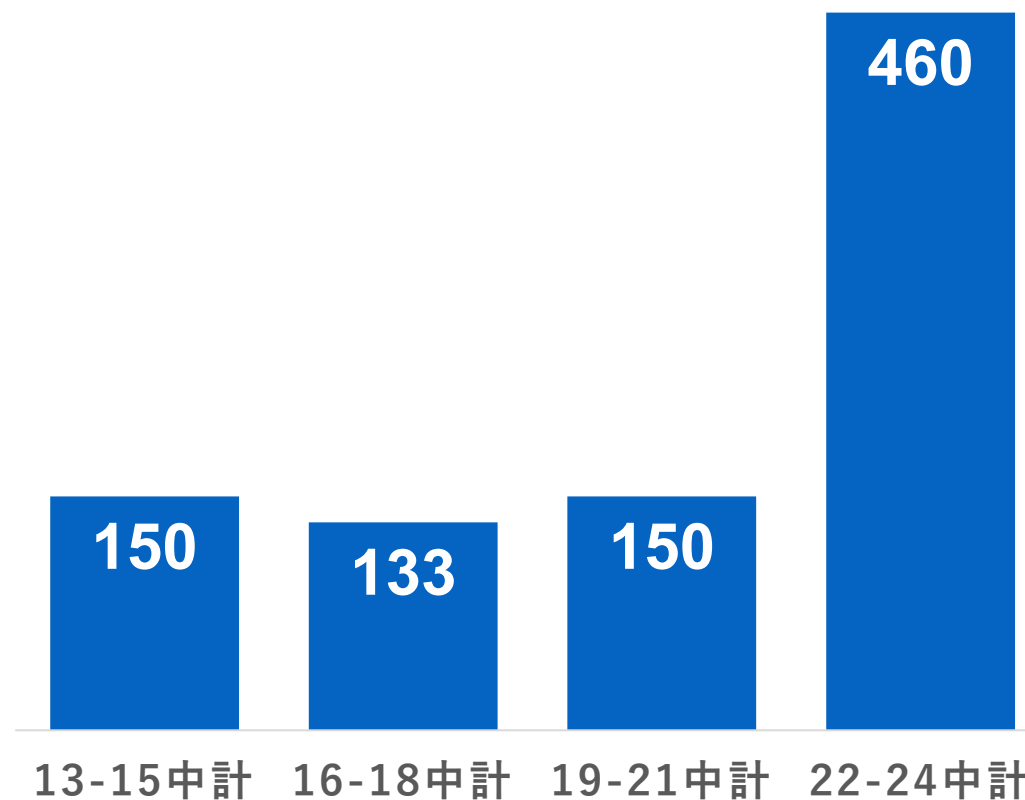
適時適切、機動的に自己株式を取得

■ 一株当たり配当金(円) ■ 記念配当

普通配当で21期連続増配



■ 自己株式取得実績 (億円)



(注1) 当社は2003年9月設立であるため2004年3月期は期末配当のみ
 (注2) 当社は2014年10月1日付で、普通株式1株につき4株の株式分割を実施しており、過去に遡って当該株式分割を反映した配当金を記載しております

2026年3月期業績予想

連結業績予想



- 政策保有株式の縮減を推進する中で、特別利益（投資有価証券売却益）が増加する見込みとなったため、親会社株主に帰属する当期純利益の予想を修正

(百万円、%)	2025年3月期		2026年3月期予想			対前年度
	金額	売上比	金額	売上比	当初予想からの増減額	率
売上高	2,961,051	—	3,107,000	—	—	104.9
売上総利益	213,927	7.22	220,700	7.10	—	103.2
販管費	175,846	5.94	183,600	5.91	—	104.4
営業利益	38,080	1.29	37,100	1.19	—	97.4
経常利益	40,485	1.37	39,700	1.28	—	98.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	27,389	0.92	36,000	1.16	11,000	131.4

2026年3月期（予想） 1株あたり年間配当金：68円

当初予想からの増減額は2025年5月15日発表の予想を元に算出しています

※2025年11月6日、予想を修正しました



医療用医薬品等卸売事業



- 市場伸長3.4%(クレコンリサーチ&コンサルティング(株)予測)を超える増収
- 物流センター新設による減価償却費や人件費・物流費等の販管費は増加するものの営業増益の計画

(百万円、%)	2025年3月期		2026年3月期予想		対前年度
	金額	売上比	金額	売上比	率
売上高	2,640,048	—	2,776,000	—	105.1
売上総利益	159,932	6.06	165,700	5.97	103.6
販管費	126,877	4.81	132,100	4.76	104.1
営業利益	33,055	1.25	33,600	1.21	101.6

※2025年5月15日発表の予想より変更していません

セルフメディケーション卸売事業



- 市場伸長を上回る増収の一方、物流費用の増加等による販管費増加の影響等により営業減益の計画

(百万円、%)	2025年3月期		2026年3月期予想		対前年度
	金額	売上比	金額	売上比	率
売上高	265,748	—	275,000	—	103.5
売上総利益	27,073	10.19	27,700	10.07	102.3
販管費	24,122	9.08	25,100	9.13	104.1
営業利益	2,950	1.11	2,600	0.95	88.1

※2025年5月15日発表の予想より変更していません



- 薬価改定のマイナス影響および製品パイプライン拡充に向けた投資等の販管費増加により減収減益の計画

(百万円、%)	2025年3月期		2026年3月期予想		対前年度
	金額	売上比	金額	売上比	率
売上高	54,065	—	53,200	—	98.4
売上総利益	13,231	24.47	13,500	25.38	102.0
販管費	11,936	22.08	12,500	23.50	104.7
営業利益	1,294	2.39	1,000	1.88	77.2

※2025年5月15日発表の予想より変更していません



- 薬価改定の影響はあるものの、市場伸長および对患者様業務の充実など薬剤師の生産性向上に努め、増収増益の計画

(百万円、%)	2025年3月期		2026年3月期予想		対前年度
	金額	売上比	金額	売上比	率
売上高	37,023	—	37,100	—	100.2
売上総利益	13,691	36.98	13,800	37.20	100.8
販管費	13,094	35.37	13,100	35.31	100.0
営業利益	596	1.61	700	1.89	117.3

※2025年5月15日発表の予想より変更していません

その他事業（再生医療関連事業）



- 今期は、来期以降の案件受注に向けた基盤整備のための投資や営業活動等に注力していく

(百万円、%)	2025年3月期		2026年3月期予想		対前年度
	金額	売上比	金額	売上比	率
売上高	—	—	0	—	—
売上総利益	—	—	△300	—	—
販管費	—	—	1,200	—	—
営業利益	—	—	△1,500	—	—

※2025年5月15日発表の予想より変更していません



当社が開示する情報の中には、当社の将来の見通しに関する事項が含まれている場合がありますが、歴史的事実以外のものは一定の前提で作成された見通しや戦略であり、こうした事項には一定のリスクや不確実性などが含まれており、様々な環境変化等により、実際の結果がこれら見通しと必ずしも一致するものではないことを予めご了承ください。

新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新する義務も方針も有しておりません。

The logo for alfresa, featuring the word "alfresa" in a blue, lowercase, sans-serif font. A small green leaf icon is positioned above the letter 'f'.

アルフレッサ ホールディングス株式会社

問い合わせ先

アルフレッサ ホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部

TEL: 03-5219-5102 FAX: 03-5219-5103

E-mail: ir@alfresa.com

Fresh life for all.

すべての人に、いきいきとした生活を。

*alfresa*group